「東日本大震災」により被災した学生等に対する支援金のご協力を

「東日本大震災」により、被災した学生への奨学金及び生活支援金等として、下記により支援金を募集しております。皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

【郵便振替（郵便局からの振り込み）】

備え付けの用紙を使用してお振り込みをお願いします。通信欄に大学との関係等をご記入ください。なお、手数料はご負担くださいますようお願いします。

口座記号番号：00140－1－612204
加入者名：学校法人専修大学寄付金口

寄付者のご芳名を大学広報紙「ニュース専修」と大学のホームページ上に掲載します。

※この支援金は寄付金控除の対象となります。

問　専修大学募金局　☎03（3265）3157

城東・城北地域の校友会支部が主催

東日本大震災　専修大学被災学生を支援する会開催

6月4日、神田キャンパスで城東・城北地域の校友会支部が主催して「東日本大震災で被災した専修大学被災学生を支援する会」を開いた。

第1部では、前東京消防庁警防部長の佐藤康雄氏が「東日本大震災にみる危機管理対応―福島第1原発3号炉燃料棒冷却作戦の顚末（てんまつ）」と題して講演を行った。

▲　危機管理について講演した佐藤氏

小宮代表

15階「報恩の間」で行われた第2部の懇親会・チャリティーオークションでは、支援する会代表の小宮多喜次氏（昭40法）が開催の趣旨を交えてあいさつ、続いて坂田隆石巻専修大学長が震災後の現況報告と、これまでの支援に対するお礼と長期的な救済支援を呼びかけた。

坂田石巻専修大学長

チャリティーオークションには、震災で水をかぶりラベルのはがれた缶詰など地元の名産品も多く販売され、支援金と合わせて138万円が集まった。

▶　チャリティーオークションには地元の名産品も並んだ

専大松戸高同窓会が支援金

専修大学松戸高の同窓会（高田浩会長＝昭41商）が東日本大震災で被災した石巻専修大学と学生への支援金として100万円を本学に贈った。

6月4日、高田会長と山田啓詞副会長（昭44商）が神田キャンパスを訪れ、日高義博理事長、坂田隆石巻専修大学長に手渡した。

同高同窓会は、来年創立50周年を迎えるが、その積立金の一部などを支援金とした。

同会はさらに義援金100万円を石巻市に贈った。

高田会長は「市民と共に歩んできた石巻専修大学の復興に役立ててほしい」と話した。

▲　日高理事長（右から3人目）と坂田学長（同2人目）に支援金を贈る高田会長（同4人目）

大相撲の大道関、名古屋場所へ意欲

「専修大学と校友会からいただいた化粧まわしに恥じぬよう、皆さんからの激励に応えるために、一つでも上を目指します」

大相撲阿武松部屋の大道関（本名：中西健二さん＝平17経営）が6月15日、神田キャンパスを訪問。日高理事長・学長らと歓談し、3場所ぶりの通常開催となった名古屋場所（7月10日から開催）への抱負を力強く語った。

大道関は新入幕（東前頭十二枚目）を果たし、さらなる活躍が期待される。

▲　大道関（左）と阿武松親方

春の叙勲ほか

6月17日付で発表された春の叙勲受章者の専修大学関係者と総務大臣表彰者は次の通り。

◇瑞宝中綬章
鈴木　啓三氏（すずき・けいぞう＝名誉教授、昭34商経）

◇危険業務従事者叙勲＝瑞宝双光章
針山　昭男氏（はりやま・あきお＝昭48法）

◇行政書士に対する総務大臣表彰
本多　庸二氏（ほんだ・ようじ＝昭34法）行政書士業務に貢献

校友会からのお知らせ

〈東消おおとり会懇親会〉

▽7月28日（木）18時30分開会▽JR四ツ谷駅前「スクワール麹町」3階。

選挙結果

7月開票当選者。

【市議会議員】

▽神奈川県厚木市
太田　洋氏（昭32商経）

アドニス56号刊行

校友会誌「アドニス56号」が7月15日に発行された。今号は、東日本大震災特集。

「われら専修人」では、震災特集に伴い、東京消防庁の生田眞勝さん、奥寺弓子さんを紹介しています。

『菜食主義者』新しい韓国の文学01

きむ　ふなさん

韓国ドラマや韓国映画が日本で人気だ。しかし、文学の世界はどうだろう。年間数百の日本文学が翻訳され「日流」が言われる韓国に比べ、日本で紹介された韓国文学は年にわずか10作ほどだ。

日本語と韓国語の双方向翻訳をこなす日本在住の韓国人、きむふなさん（平16院博文）は「韓国の有望な作家の作品を、日本人に、特に若い人に紹介したい」と意欲を燃やしている。

そのきむさんが翻訳した連作小説集『菜食主義者』は、今日の韓国文壇を代表する女性作家のひとり、ハン・ガンさんの出世作。日本で初めて紹介される作家だ。

「彼女が一貫して描いてきた欲望、死、存在論などの問題がこの作品に凝縮され、見事に開花した」と絶賛され韓国で最も権威のある「李箱文学賞」を受賞した。

きむさんは「静かだが力のある声を発する作品」とあとがきで語っている。

（クオン・本体2200円＋税）

『7人制ラグビー上達クリニック』

村田　亙さん

2016年リオデジャネイロ五輪で正式種目として採用される7人制ラグビー・通称「セブンズ」。元日本代表スクラムハーフで現在は7人制日本代表の監督を務める村田亙さん（平2文）が、「セブンズ」の基本から練習方法、試合に役立つテクニックや戦術を解説した『7人制ラグビー上達クリニック』を刊行した。豊富な写真を用い、ビジュアル的にも理解しやすい内容だ。

最後の章では昨秋、中国・広州で開催されたアジア競技大会で金メダルを獲得するまでの軌跡が描かれ、興味深い。

今春から本学ラグビー部アドバイザーに就任した村田さんは、4年次では主将として7年ぶり5度目のリーグ戦優勝に貢献。東芝府中、フランスのアビロン・バイヨンヌと日本人初のプロ契約、帰国後はヤマハ発動機ジュビロでプレーしてきた、これまでの経験とテクニック、高い志を部員たちに伝えている。ラグビー部の復活にも期待したい。（実業之日本社・本体1400円＋税）

校友の本紹介

専大校友を訪ねて

コーセーコスメポート㈱
企画部販売企画一課主任
木野（きの）　敏宏（としひろ）さん
（平14経営）

有名サッカー選手が登場するテレビCMが印象的なアディダス社とのコラボ商品「adidas skin protection（アディダス・スキン・プロテクション）シリーズ」を担当する。10代から30代をターゲットにスポーツシーンでの使用をイメージして開発された爽快な使いごこちが人気の男性化粧品。2010年2月のプレス発表会では「認知度90％を超える同社のブランド価値を最大限に活用し、トータルでアスリートをサポートします」とプレゼンし話題となった。

ライセンス契約から1年半。努力が結実した感動の瞬間だったが、「ようやくスタートラインに立てたという思いの方が強かった」と振り返る。

―野球で培ったすべてが仕事に生きる―

入社直後は、名古屋支店で営業を経験。何事にも手を抜かず、真剣に取り組む姿勢が認められ、東京本社でのブランド企画担当という「大役」に抜擢された。「目の前の仕事の成果を着実に積み重ねることで、次のステージにつながると実感しました」。

甲子園常連校・石川県星稜高校では97年選抜甲子園大会にサードで出場。プロからも注目されたが専大準硬式野球部へ。入学と同時にレギュラー入りし、俊足の内野手として活躍した。4年次では主将。春季合宿のミーティングでは、勝つために何をすべきかを毎晩熱く語り、部員のモチベーションをあげることに成功し、春季リーグ優勝、13年ぶりの全国大会出場へと導いた。

今春の体育会リーダースキャンプで、「自分に足りない部分は人に頼るリーダーだった。任せることで、同期や後輩たちとの間に信頼関係が生まれ、結果としてチーム力向上につながった」と部員60人の大所帯をまとめた体験を披露した。

「コミュニケーション力、プレゼン力、相手を分析する力、瞬間の判断…。野球で培ったすべては、結果を出すために、周囲を巻き込んで仕事をしていくプロセスに存分に生かされています」。